

(参考資料)

1	交通安全の管理基準	501
2	建設副産物等の一時保管の掲示看板について (参考)	517
3	反転均平工法施工順序について	521

(白紙)

1 交通安全の管理基準

(白紙)

交通安全の管理基準

1. 道路工事に伴う道路標識などの設置基準

(1) 道路工事標識等の設置方法

道路標識等の設置方法については、道路工事保安施設設置基準（案）によるものとする。なお、この基準に規定されていない事項については、工事監督員の指示によるものとする。

道路工事保安施設設置基準（案）










保安施設設置標準図一覧表

呼称	車線数	作業箇所	昼・夜間作業別条件	摘 要
A-1	2	片側全車線	a. 昼間作業（夜間は施設を撤去）	車道舗装（打設、オーバーレイ等を含む）
			b. 昼間作業（夜間も施設を存置）	
			c. 夜間作業（昼間は施設を撤去）	
A-2	2	路側	b. 昼間作業（夜間も施設を存置）	現道拡幅工事
A-3	2	片側全車線	a. 昼間作業（夜間は施設を撤去）	局部打換（小規模）、パッチング等
			c. 夜間作業（昼間は施設を撤去）	
H-1	—	歩道・路側	b. 昼間作業（夜間も施設を存置）	擁壁等防災工事
H-2	—		b. 昼間作業（夜間も施設を存置）	B.P、積込み現物、回り道等
K-1	—	土砂及び資材等の大量かつ集中的輸送	b. 昼間作業（夜間も施設を存置）	輸送の主要道に出入り

注意事項

例示のない場合は、適用条件類似のものに準じて処理のこと。

保安施設の種類及び設置目的

施設	記号	交通の誘導	立入禁止	場所の 明示予告	交通指導	その他	摘要
工事箇所予告標示板	①			○			
警戒標識	②			○			
警戒標識	③			○			
警戒標識 (212-2)	④			○			
規制標識 (311)	⑤	○			○		
規制標識	⑥				○		
規制標識 (301)	⑦						
片側交互通行標示板	⑧						
歩行者案内板	⑨		○				
停止線標識	⑩				○		
工事名標示板	⑪					○	
工事情報看板	⑫					○	
工事説明看板	⑬					○	
誘導標示板	⑭	○		○	○		
まわり道案内標示板	⑮					○	
まわり道標識 (120-A)	⑯					○	
保安灯 (又はすざらん灯 カラーコーン)	 ⑰	○	○	○			
歩道柵	 ⑱		○	○			
黄色回転灯	 ⑲			○			
バリケード	 ⑳		○	○			砂袋等にて半固定されたバリケード
セーフティコーン	○ ㉑	○		○			
片側交互通行予告標示板	㉒			○			
照明灯				○			300~500W
交通整理員		○			○		
保安要員		○	○		○	○	
標識搭載車		○	○	○	○	○	
簡易信号機		○			○		

保安施設標準様式図

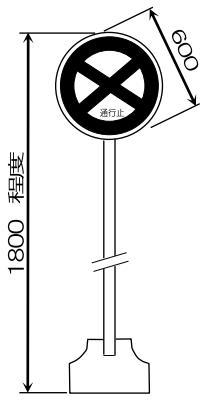
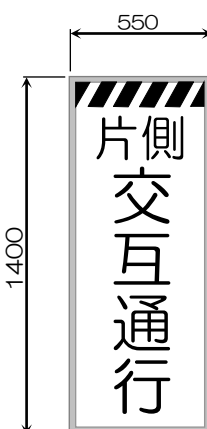
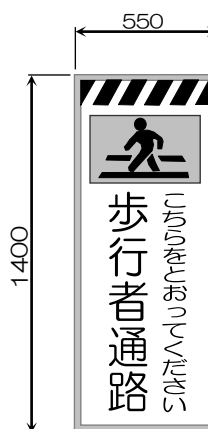
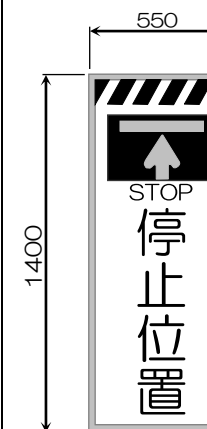
記号	①	②	③
名称	工事箇所予告標示板	警戒標識	警戒標識
型式 及び 標準寸法 (単位 mm)			
注	(1) 高輝度反射シートとする。(固定式)	(1) 高輝度反射シートとする。(固定式)	(1) 高輝度反射シートとする。(固定式)

注意事項 1. 標準支柱コンクリート受台の形状寸法は 30cm(H)×30cm(W)×30cm(B) 以上とする。

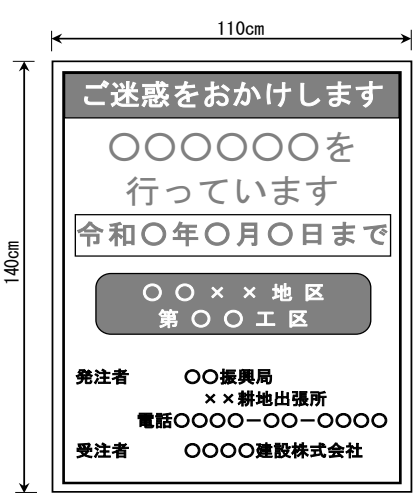
記号	④	⑤	⑥
名称	警戒標識 (212-2)	規制標識 (311)	規制標識
型式 及び 標準寸法 (単位 mm)	<p>二方向交通</p>	<p>指定方向外 通行禁止</p>	
注	拡大率 1.0 倍を標準とする。 (全面反射)	拡大率 1.0 倍を標準とする。 (全面反射)	(1) 高輝度反射シートとする。 (固定式)

注意事項 1. 標準支柱コンクリート受台の形状寸法は 30cm(H)×30cm(W)×30cm(B) 以上とする。

保安施設標準様式図

記号	⑦	⑧	⑨	⑩
名称	規制標識 (301)	標示板	歩行者案内板	停止線標識
型式及び標準寸法 (単位 mm)				
注	拡大率1.0倍を標準とする。 (全面反射)	(1) 高輝度反射シートとする。 (固定式)	(1) 高輝度反射シートとする。 (固定式)	(1) 高輝度反射シートとする。 (固定式)

注意事項 1. 標準支柱コンクリート受台の形状寸法は 30cm(H) × 30cm(W) × 30cm(B) 以上とする。

記号	⑪
名称	工事名標示板
型式及び標準寸法 (単位 mm)	
注	<p>(1) 色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、工事名については青地に白抜き文字する。「〇〇〇〇〇〇を行っています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。</p> <p>(2) 工事期間については、交通上支障を与える実務の期間を記入するものとする。</p> <p>(3) 工事等に変更のあった場合は直ちに修正するものとする。 (メラミン焼付) (固定式)</p>

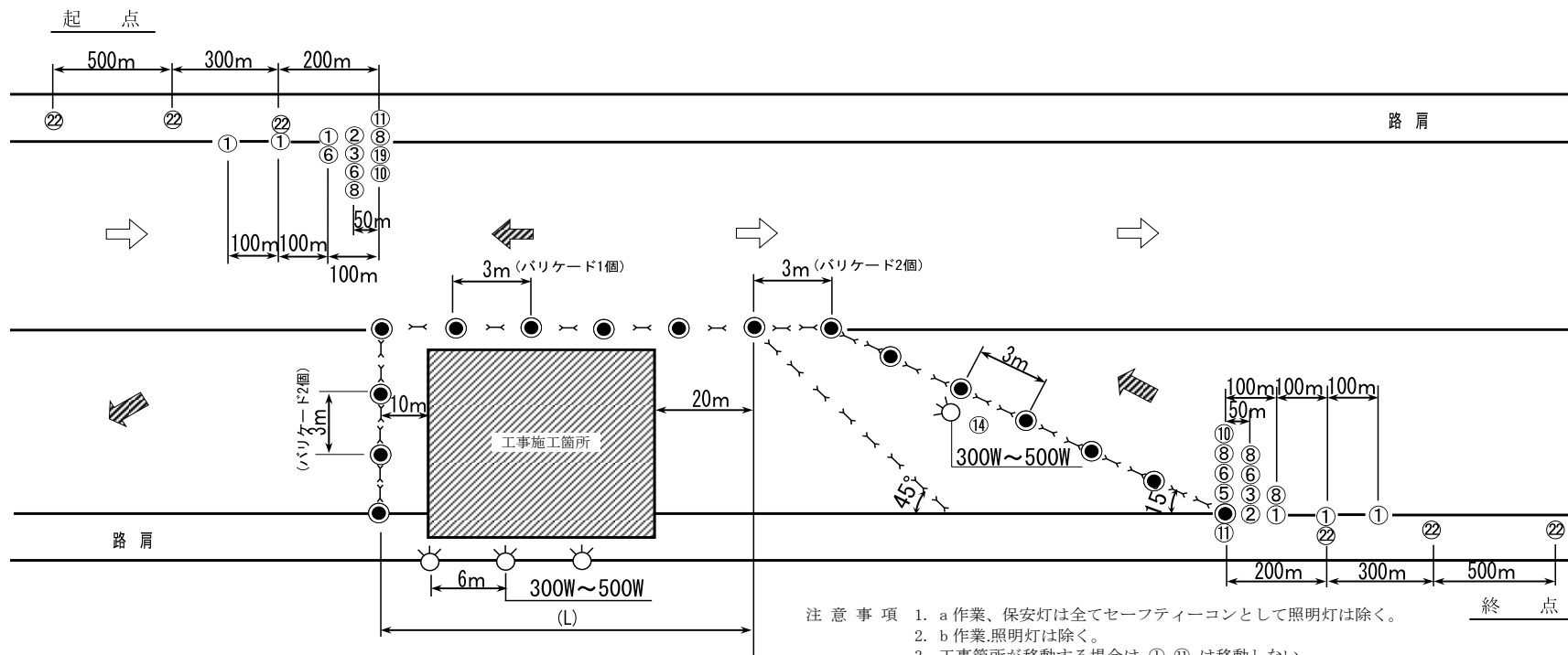
注意事項 1. 標準支柱コンクリート受台の形状寸法は 30cm(H) × 30cm(W) × 30cm(B) 以上とする。

保安施設標準様式図

記号	⑰	⑱	⑲
名称	保安灯	歩道柵	回転灯
型式及び標準寸法(単位 mm)			
注	<p>(1) 誘導距離夜間 150m以上の効果をもつものであること。</p> <p>(2) 保安等の設置間隔は 3mを標準とする。</p> <p>(3V 特殊電池用、点滅球付)</p>	<p>(1) 柱及びロープは黒地の縞をほどこすものとする。</p> <p>(2) ロープの外形は 12mm以上とする。</p> <p>(3) 柱間隔は約 5mとする。(コンクリート台付)</p>	<p>確認距離 200m以上の効果をもつ黄色回転灯とする。</p> <p>(三脚台～鋼管製メラミン焼付)</p>

記号	⑳	㉑	㉒
名称	バリケード	セーフティーコーン	片側交互通行告知標示板
型式及び標準寸法(単位 mm)	<p>寸法：800m/m×1200m/m</p> <p>寸法：全高 800m/m 全幅 1200 m/m</p>	<p>高さ 700</p>	
注	<p>(エプロン内の内黄色の部分が光る)</p>	<p>ラバー製、反射式(夜光) (黄色の部分が光る)</p>	<p>(1) 色彩は「この先〇〇〇メートル」は青色反射シート「片側交互通行呼応」は赤色反射シート、地色は白色とする。</p> <p>(2) 上部の縁線は青色、記号㉒の道路工事中はカプセルレンズ、地色は白色とする。</p> <p>(3) メートル数は標準で 200, 500, 1000 とする。(メラミン焼付)</p>

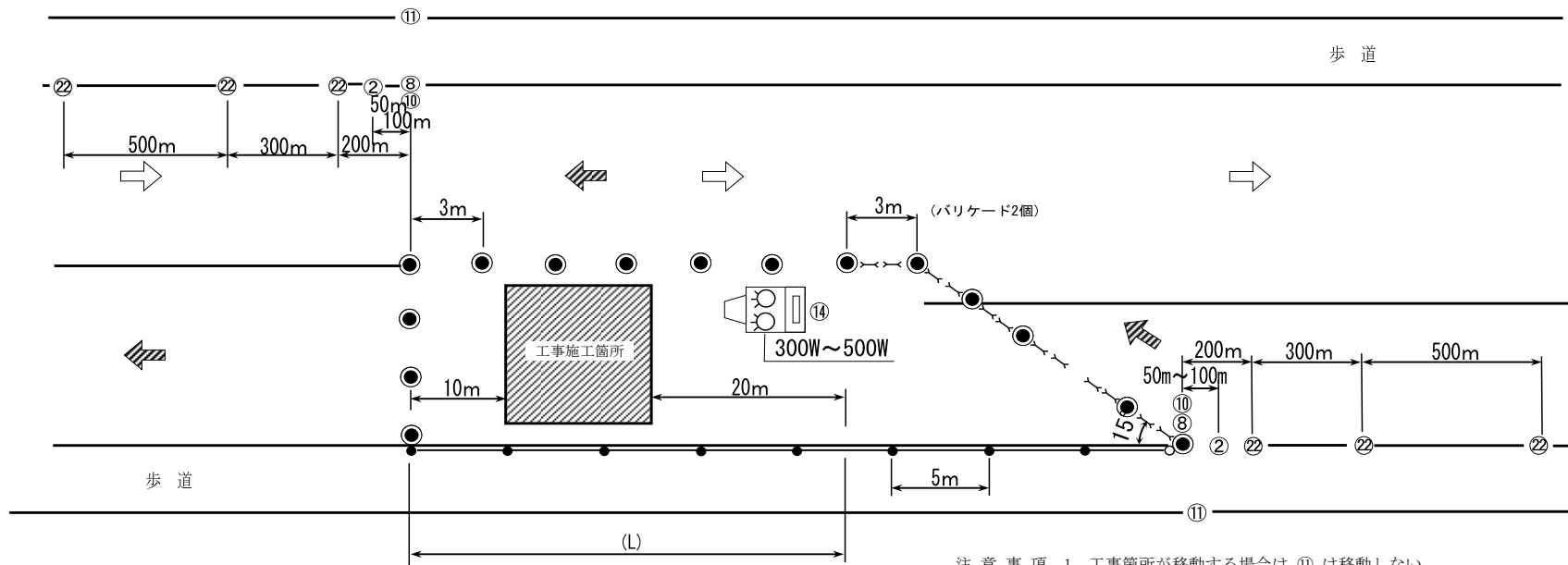
A-1 標準図 2車線：片側全車線閉塞 (a. b. c 作業)



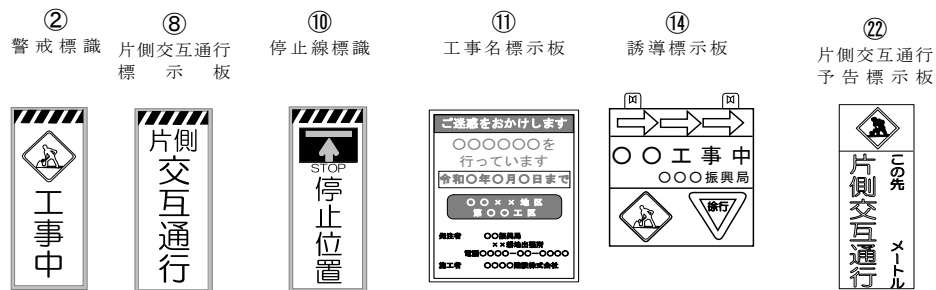
注意事項 1. a 作業、保安灯は全てセーフティーコンとして照明灯は除く。
 2. b 作業.照明灯は除く。
 3. 工事箇所が移動する場合は ① ⑪ は移動しない。

- | | | | | | | | | | | |
|---------------|------|------|------|------|---------------|-------|--------|-------|-------|-----------------|
| ① | ② | ③ | ⑤ | ⑥ | ⑧ | ⑩ | ⑪ | ⑭ | ⑰ | ⑳ |
| 工事箇所
予告標示板 | 警戒標識 | 警戒標識 | 規制標識 | 規制標識 | 片側交互通行
標示板 | 停止線標識 | 工事名標示板 | 誘導標示板 | 黄色回転灯 | 片側交互通行
予告標示板 |
| | | | | | | | | | | |

A-3 標準図 2車線：片側全車線閉塞：局部灯映（小規模）：ハッチング（a.c作業）

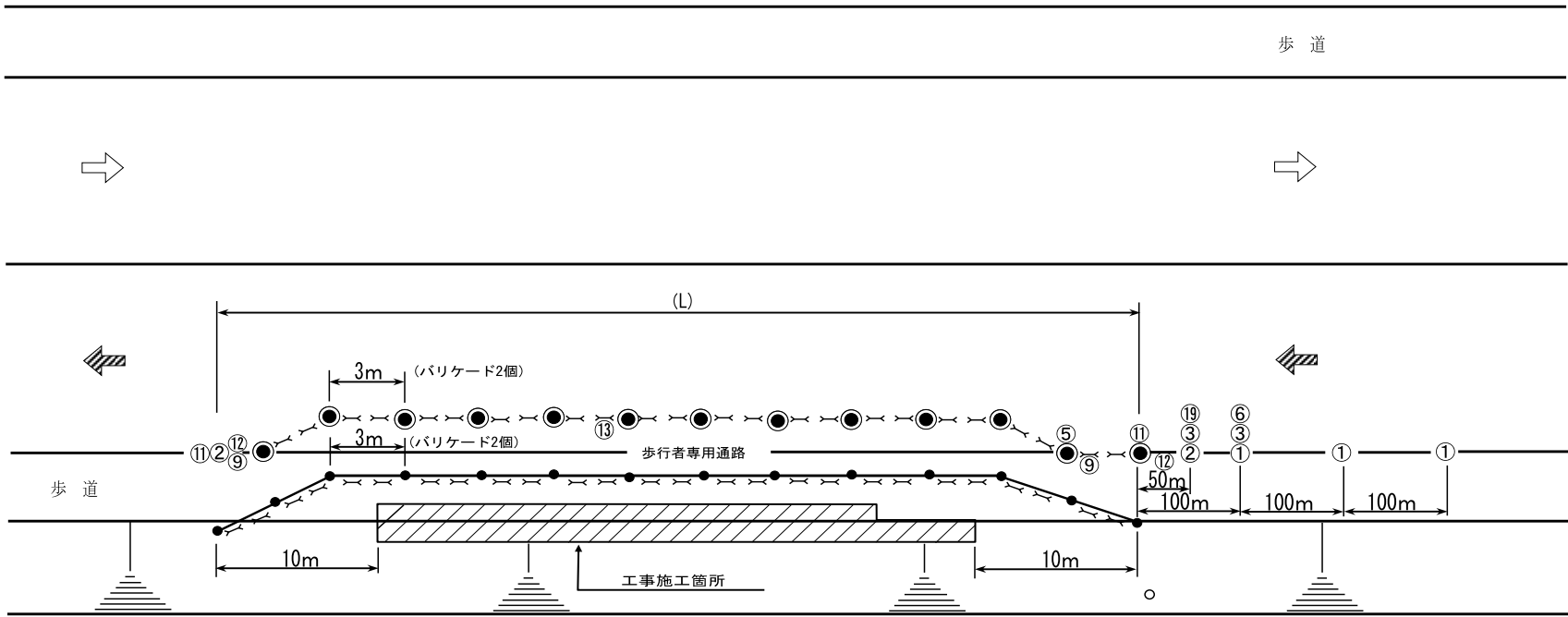


- 注意事項 1. 工事箇所が移動する場合は ⑪ は移動しない。
 2. a作業,保安灯は全てセーフティコーンとして照明灯は除く。



※工事看板⑱および工事説明看板⑲については、短期間に完了する簡易な工事の場合設置しないことができる。

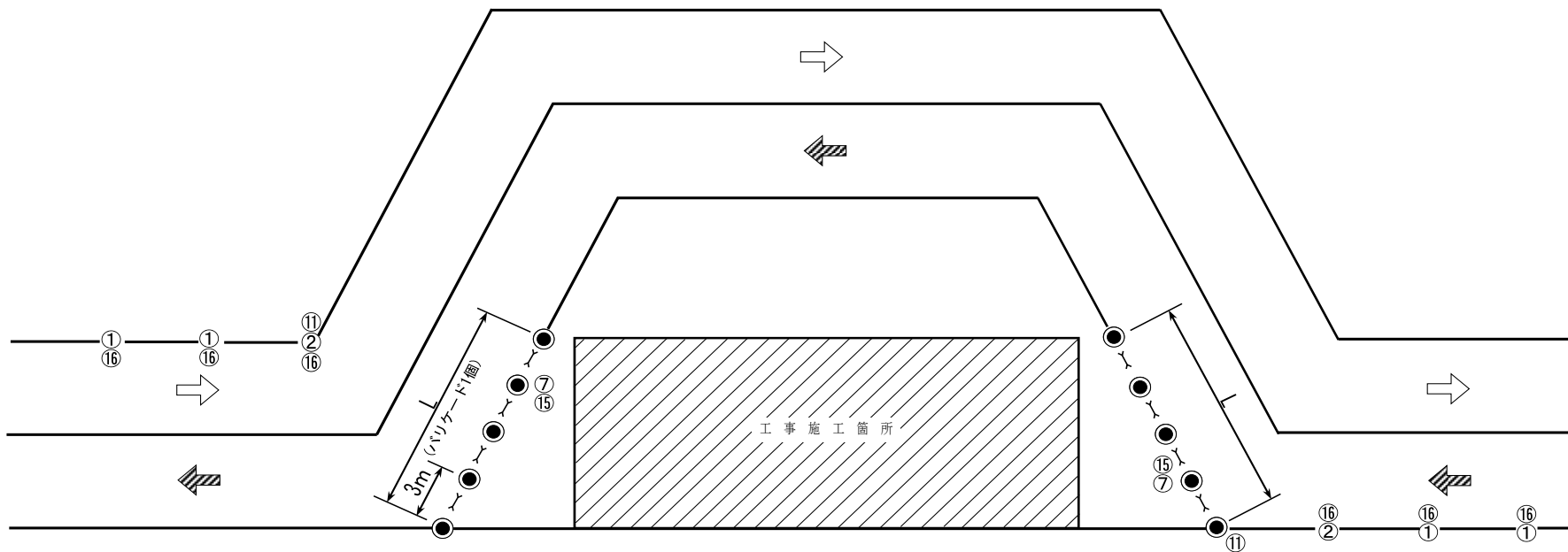
H-1 標準図 擁壁等防災工事（路側）、2車線。（b作業）



1. 工事箇所が移動する場合は ⑪ は移動しない。

- ①
工事箇所
予告標示板
- ②
警戒標識
- ③
警戒標識
- ⑤
規制標識
- ⑥
規制標識
- ⑨
歩行者案内板
- ⑪
工事名標示板
- ⑫
工事情報看板
- ⑬
工事説明看板
- ⑲
黄色回転灯

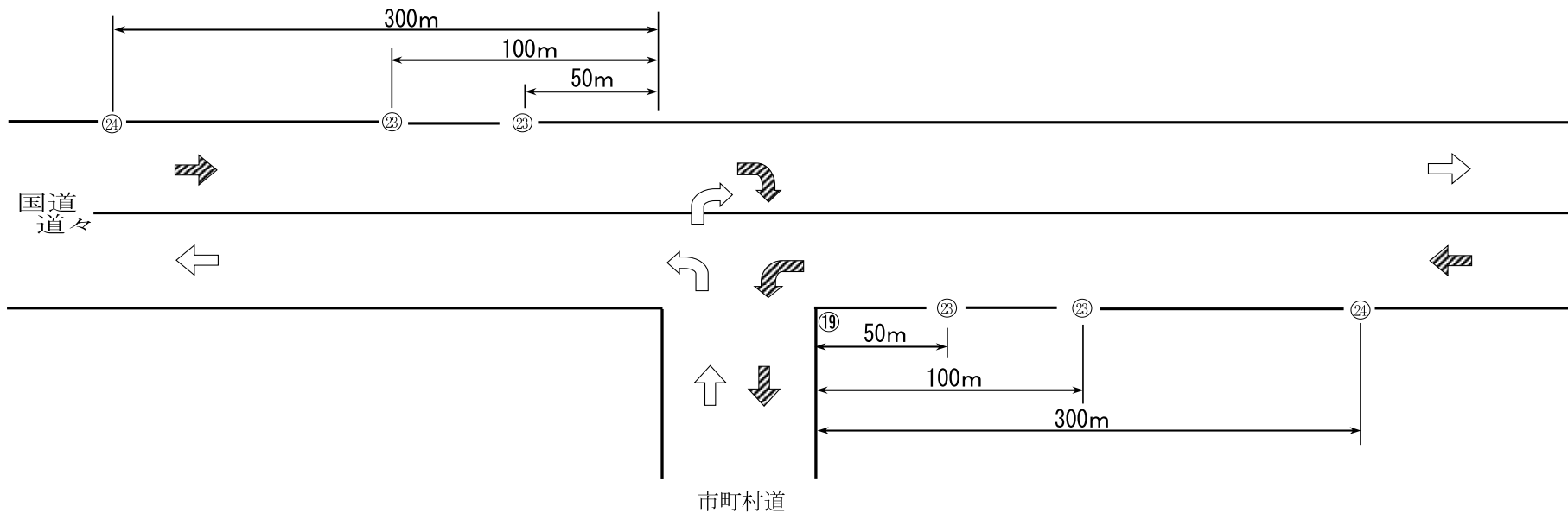
H-2 標準図 BP、つ込み、周り道等2車線。(b作業)



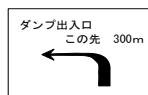
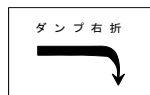
注意事項 1. まわり道のみ ⑮ ⑯ を付ける。

①	②	⑦	⑪	⑮	⑯
工事箇所 予告標示板	警戒標識	既製標識	工事名標示板	まわり道案内標示板	まわり道標識

K-1 標準図 土砂及び資材等の大量かつ集中的輸送の主要道路に出入り2, 4車線. (b作業)



警告板 ②③
警告板 ②④
黄色回転灯 ①⑨



(白紙)

2 建設副産物等の一時保管の掲示看板について (参考)

(白紙)

一時保管の看板記載例について（参考）

1. コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、発生木材、汚泥等の産業廃棄物を工事期間中に受注者が一時保管する場合

産業廃棄物の一時保管場所	
産業廃棄物の種類	
保管の期間	年 月 日 ~ 年 月 日
管理者名	〇〇建設(株) 担当者 〇〇 〇〇
連絡先	TEL 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
最大積み上げ高さ	
保管（可能）量	

↑
100 cm以上
↓

← 120 cm以上 →

- ※ 文字は黒色、下地は白色で鮮明な字体であることとし、材質は十分な強度を有するものであること。
- ※ 最大積み上げ高さについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」及び「産業廃棄物の保管施設ガイドライン」（北海道環境生活部）を参照すること。
- ※ 保管量については、産業廃棄物の搬入・搬出があり保管量が増減する場合は保管可能量として記載すること。

2. 建設副産物（建設発生土、すき取り土等の有価物）を必要に応じて一時保管する場合

建設副産物の一時保管場所	
保管目的	
建設副産物の種類	
保管の期間	年 月 日 ~ 年 月 日
管理者名	
連絡先	

↑
100 cm以上
↓

← 120 cm以上 →

一時保管看板の記載例

① 保管目的

〇〇年度〇〇工事で発生した建設発生土を △△年度施工予定の□□工事で（ドレーン材料、盛土材料、基礎材料、埋戻し材料）に再利用するため下記の期間、保管するものです。

② 管理者名

〇〇（総合）振興局長（支出負担行為者）を記載する。

③ 連絡先

産業振興部（整備課・農村振興課 〇〇耕地出張所） 〇〇係 電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

(白紙)

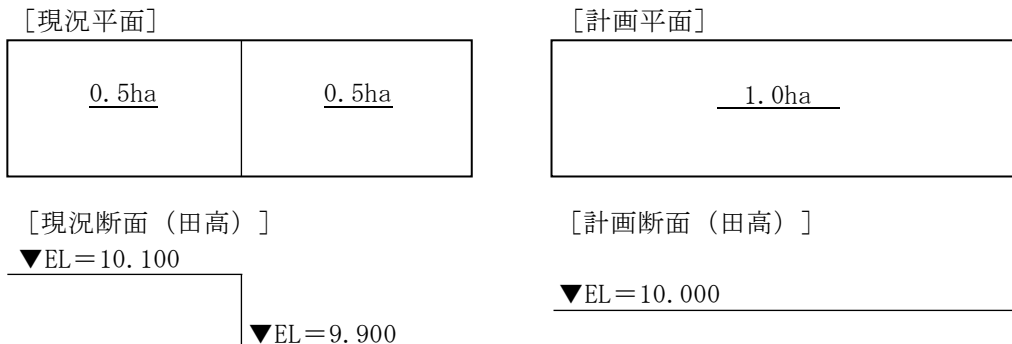
3 反転均平工法施工順序について

(白紙)

反転均平工法施工順序について

1. 反転均平工法 I

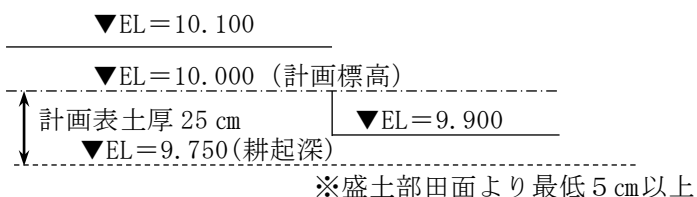
例) 2枚の耕区を1枚に整地する場合。



1) 作業工程

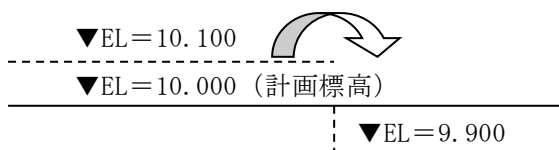
①前処理 融雪水排除、降雨時の地表排水を迅速に行う準備作業として、心土破碎を行う。

②反転耕起



③畦畔築立

④運土・整地

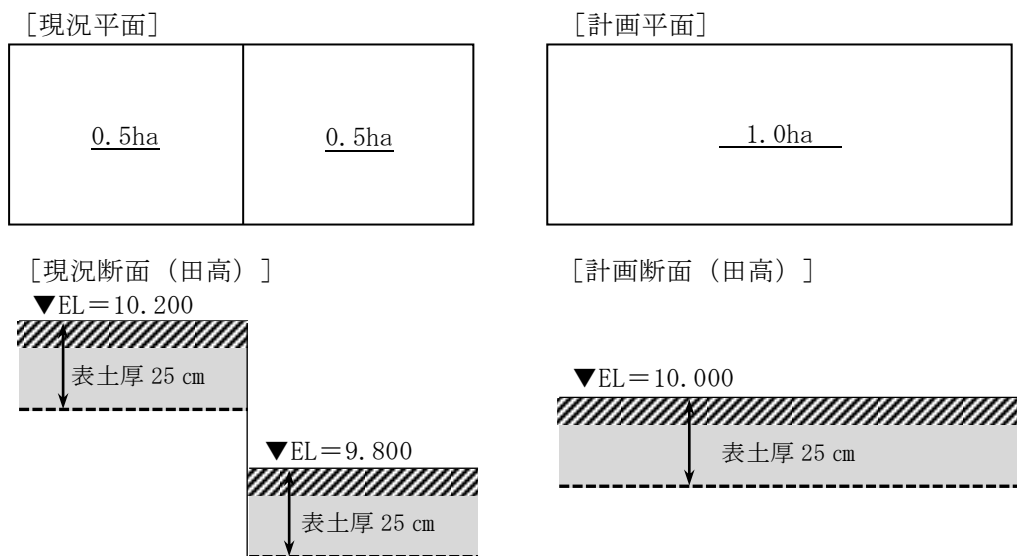


2) 施工機械 (参考)

作業種別	施工機械 (けん引機械+作業機械)
心土破碎	ゴムクローラトラクタ(5 tクラス)+パンブレーカ (2本爪 作業幅 1.6m 5tクラス)
反転耕起	ゴムクローラトラクタ(11 tクラス・レーザー仕様)+レーザーブラウ(16インチ5連)
運土・整地	ゴムクローラトラクタ(5 tクラス・レーザー仕様)+レーザーレベラー(作業幅: 5 m)

2. 反転均平工法Ⅱ

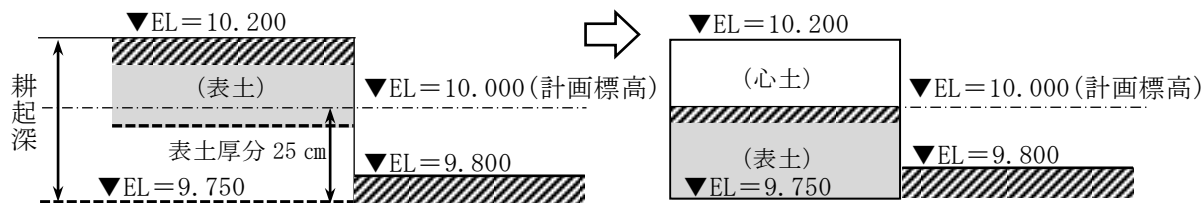
例) 2枚の耕区を1枚に整地する場合。(表土厚 25 cmの場合)



1) 作業工程

①前処理 「反転均平工法Ⅰ」に同じ

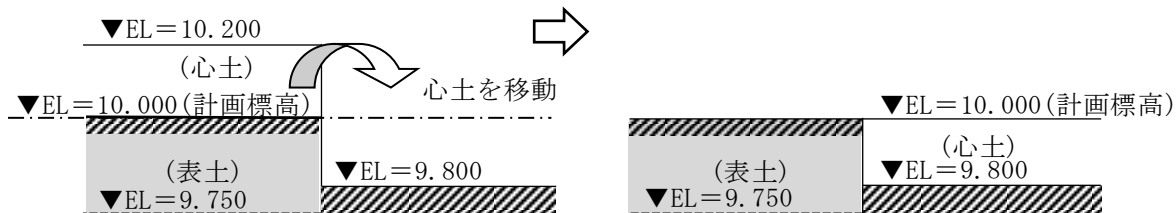
②反転耕起①



・計画高より高い耕区を計画高から表土厚分低い位置で反転耕起を行う。

[計画高より高い耕区の表土が計画高直下へ移動し心土が計画高直上へ移動する]

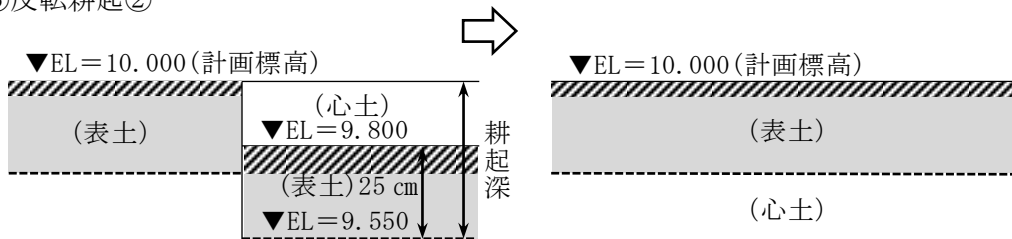
③運土・荒整地



・計画高より高い耕区の心土を計画高より低い耕区へ移動する。

④畦畔築立

⑤反転耕起②



- ・ 計画高より低い耕区を現況田高から表土厚分低い位置で反転耕起する。
[計画高より低い耕区の表土が計画高直下へ移動する]

⑥仕上整地

- ・ 計画耕区全体を仕上整地する。

2) 施工機械 (参考)

作業種別	施工機械 (けん引機械+作業機械)
心土破碎	ゴムクローラトラクタ (5 tクラス)+パンブレーカ
反転耕起 (耕起深 35 cm未満)	ゴムクローラトラクタ (11 tクラス・レーザー仕様) +レーザーブラウ (22 インチ 3 連)
反転耕起 (耕起深 35 cm以上)	ゴムクローラトラクタ (11 tクラス・レーザー仕様) +レーザーブラウ (30 インチ 2 段)
運 土	ブルドーザ (湿地 16 t 級・レーザーレベル付き)
整 地	ゴムクローラトラクタ (5 tクラス・レーザー仕様) +レーザーレベラー (作業幅 : 5 m)

(白紙)